

日 時：2023 年 2 月 16 日（木）14:00～15:10

場 所：Web 会議形式での開催

出席者：藤野裕士（理事長）、内田寛治、大塚将秀、志馬伸朗、近藤康博、  
竹田晋浩、平井豊博、中根正樹、石井宣大、佐藤暢一、玉木 彰、  
茂呂悦子（各理事）、西田 修（監事） [敬称略]

欠席者：竹内宗之（理事）、川前金幸（監事）

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席が報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 1 件、連絡 0 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・審議 1 件の決定事項を承認した。

3. 理事長報告（藤野理事長）

- 1) 令和 4 年度「在宅人工呼吸器に関する講習会」e ラーニング協賛名義使用許可  
(2023 年 3 月 1 日～30 日開講)

- ・上記講習会への協賛名義使用を許可した。

- 2) 日本臨床工学技士会法人設立 20 周年記念事業出席（2023 年 3 月 11 日、新宿）

- ・上記記念事業に学会を代表して出席予定である。

- 3) 第 33 回日本臨床工学会後援名義使用許可

(2023 年 7 月 21 日～23 日、広島国際会議場)

- ・上記学会への後援名義使用を許可した。

- 4) 事務局員の出席する委員会・会議について

- ・オンラインでの会議が主流となり、医療従事者である会員が学会の Web 会議に積極的に出席できるようになった。学会活動は自己研鑽であるため会議の大半は時間外に設定され、事務局員が出席を要する会議については各学会が時間外勤務で対応するケースが増えている。
- ・本会では、事務局が出席し議事録を作成する会議については、理事会・総会のほか「セミナー事業（セミナー委員会）」「専門医認定事業（専門医委員会）」「機関誌等発行（人工呼吸編集委員会）」といった学会事業に直結する 3 委員会が該当するが、明文化されていなかった。

- ・審議事項で事務局員の委員会出席にかかる規定の変更を審議し、2009年に締結したメディカ出版との契約内容についても見直しを行う。時間外の会議への出席・議事録作成については有料化することにし、再締結を進める。
- ・本年度に開催された時間外の会議に事務局員が出席した分は、2022年度中に別途当該料金を支払う。各委員会には節度ある運用をお願いし、今後、時間外に事務局員が出席した会議については理事会で報告を行うこととした。

#### 4. 事務局からの報告（佐藤理事）

- ・2023年2月1日時点の会員数が以下のとおり報告された。  
     一般会員：1,916名（Dr 1,153、Ns 270、CE 338、PT 118、他 35）  
     賛助会員：15社／年間購読契約：10件
- ・会員動向は増加傾向にあり、医師会員の増加が全体を牽引している。看護師・臨床工学技士は微減、理学療法士は横ばいとなっている。
- ・一般会員の会費納入状況は、2021年度が94.4%、2022年度が84.7%となった。2022年度分の未納者には事務局より督促を行う。
- ・法人法において、確定申告は事業年度終了後2カ月以内（最長3カ月以内）の開催とされており、一方本会の運用は5月の理事会後に行っている。会計士に確認し、次の理事会で報告する。

#### 5. 学術集会報告・準備状況

##### 1) 第44回学術集会（代 藤野理事長）

2022年8月6日（土）・7日（日）パシフィコ横浜ノース

（現地開催＋オンデマンド配信；8/22～10/3）

「Break Through 扉を開けよう」

- ・収支決算は、収入90,954,175円、支出85,963,867円となり、4,990,308円の黒字であったことが報告された。余剰金などを審議事項にて検討する。
- ・当時の理事・監事に多大なる支援があった。収益の黒字について学会に寄附いただけないかと相談している。
- ・学術集会に参加した医師会員より、オンデマンド配信されたコンテンツを自施設スタッフの教育目的で使用したい旨の問合せがあったが、当初の目的外のため演者の許諾が得られておらず著作権の問題もあり対応不可とした。

##### 2) 第45回学術集会（近藤会長）

2023年8月5日（土）・6日（日）ウインクあいち（名古屋）

「つなぐ ～ニューノーマルへ Connecting the Dots」

- ・プログラムの進捗が報告された。5名の海外演者を招聘し、うち3件の企業支援内諾を得た。1件はオンライン登壇を依頼し、1件は学会負担で交渉中。企業協賛については共催セミナー17件、展示7件のほか寄附・広告の募集を進行中。
- ・一般演題募集を1月25日～3月8日の期間で実施中である。

- ・日本集中治療医学会の HP でも案内を掲載いただける。日本呼吸器学会にも確認する。

3) 第 46 回学術集会 (中根副会長)

2024 年 6 月 28 日 (金)・29 日 (土) 天童ホテルほか (山形)

- ・宣伝のためポスターを作成中であることが報告された。

## 6. 事業報告

1) セミナー事業 (大塚理事)

- ・医師向けセミナー第 12 回 Basic コース (オンライン) は 419 名の申込を得て 2/1～3/31 の 2 カ月間を受講期間として実施中である。受講料は 12,100 円 (税込)。

2) 呼吸療法専門医／研修施設 2022 年度〈更新・新規〉認定 (佐藤委員長)

- ・本年度の認定を行った結果、呼吸療法専門医と研修施設の総数が、302 名／127 施設となった。

## 7. 各委員会報告

1) 小児在宅人工呼吸検討委員会 (竹内理事)

- ・初刷 2,000 部時に 350 部を学会で買取した『小児在宅人工呼吸療法マニュアル第 2 版』の注文状況については、2022 年 8 月の販売から 303 部の売上があったが、すでに 220 部を受注した北海道医療センター (石川悠加 Dr、竹内伸太郎 Ns) から追加で残り 47 部の注文があり、学会買取分は完売となった。

2) セミナー委員会 (大塚理事・玉木理事)

- ・2 月に Web 会議を開催。日本集中治療医学会サマーキャンプ in ニセコでのハンズオン企画、2023 年度オンラインセミナー開催計画、講演資料作成にかかる著作権問題などについて審議した。
- ・ハンズオン企画については各人工呼吸器メーカーから機器とシミュレーター提供の協賛が得られ、OB・次期予定者も含め委員からインストラクターの選出を検討中である。
- ・著作権トラブルを避けるためオンラインセミナーの視聴可能期間を次年度より 2 カ月から 1 カ月に短縮し、講演資料については委員会相互査読を行う。

2) チーム医療推進委員会 (大塚理事・茂呂理事)

- ・12 月と 1 月に Web 会議を開催。第 45 回学術集会での委員会企画の実施、アンケートの実施、多職種の見意見交換の場の設置などについて検討した。
- ・建設的意見箱への投書をもとに、会員間で呼吸管理に関する意見交換の場を設ける方向で具体案を検討中。意見交換の具体的なプラットフォームを模索するためのアンケートを学会員に行う予定。

3) RST プロジェクト (佐藤理事、大塚理事)

- ・1 月に Web 会議を開催。今後のプロジェクトのあり方について審議。施設の認定が進まず、認定施設の登録の負担や登録データの質といった問題があり、活動をいった

ん締めくくる意見もあったが、代表を長谷川隆一委員に交代し、実務を担うメンバーを中心に活動を継続し過渡期を乗り切ることとした。

4) 社会保険委員会 (志馬委員長)

- ・2022年12月に令和6年度診療報酬改定「提案意向調査」を内保連に提出した。
- ・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会より、臨床工学技士による患者宅の訪問に対する「在宅医療機器安全指導管理料 (仮)」について共同提案の打診があった。本会でも類似案件の提案があったため共同提案学会として連名した。
- ・1月に本委員会が加盟している呼吸器関連委員会が「重複提案の調整」「主提案学会・共同提案学会の決定」を目的に開催された。志馬委員長が出席した。「基礎代謝測定 (間接熱量測定)」だけでなく、他の提案 (共同含む) も含め本会から提出したものについては変更なく進めることが決まった。

5) 学術研究推進委員会 (志馬理事)

- ・2022/12月に「ExPress SAVER trial」の公募を会員宛に行った。
- ・「集中治療と医療の質指標とVAE (略称)」は患者症例登録が終了し、データ整形を行う予定である。
- ・「新型コロナウイルスの治療薬・ワクチンの開発に資するデータ連携基盤の構築」研究については、本年度中の学会誌に投稿・掲載を行う予定である。
- ・以下の研究案件を学会承認案件とすることを委員会で確認した。  
「COVID-19患者における急性呼吸不全に対する非侵襲的呼吸管理デバイス (HFNCOT, CPAP, NPPV) の有効性と安全性の検討」

6) 気管吸引ガイドライン改訂ワーキンググループ (中根委員長)

- ・気管吸引ガイドライン2023の作成をロードマップに則り進行中である。
- ・EtDと推奨の作成後、投票・決定を集合形式で開催することを検討している。
- ・最終原稿を経て、第45回学術集会でシンポジウムを開催し、パブリックコメントで意見集約を行う予定である。

8. その他

1) 2022年度理事会日程

- ・第3回理事会 (Web形式) 2023年5月25日 (木) 14:00~15:30
- ・第4回理事会 (集合形式、名古屋) 8月4日 (金) 14:00~15:00

II. 審議事項

第1号議案 次期委員会人事 (佐藤理事)

- ・各委員会の委員後任候補が承認された。

1) 人工呼吸編集委員会

- ・竹内宗之委員長、相嶋一登委員、有蘭信一委員、笹野 寛委員の後任に、  
則末泰博代議員、近田優介会員、飯田有輝会員、緒方嘉隆会員を承認

- ・次期委員長に藤本潤一委員を承認
- 2) 代議員審査委員会
  - ・高橋伸二委員長、今中秀光委員、卯野木健委員、  
岸川典明委員、佐藤庸子委員、島田二郎委員の後任に  
清水 雄代議員、大藤 純会員、四本竜一代議員、  
森沢知之代議員、池崎弘之代議員、相澤 純代議員を承認
  - ・次期委員長に青景聡之委員を承認
- 3) セミナー委員会
  - ・大藤 純委員、長嶺祐介委員、春田良雄委員の後任に、  
板垣大雅会員、後藤祐也会員、藤江建朗会員を承認
- 4) チーム医療推進委員会
  - ・横山俊樹委員長、飯田有輝委員、濱本実也委員の後任に、  
佐藤暢夫代議員（委員長）、戸部一隆会員、三山麻弓会員を承認
  - ・西村直樹委員の後任は検討中
  - ・今期より藤澤美智子先生（呼吸療法専門医）の委員就任を承認
- 5) RST プロジェクト
  - ・卯野木健委員の後任に、三山麻弓会員を承認
  - ・西村直樹委員長の後任は検討中
  - ・次期プロジェクト代表に長谷川隆一委員を承認
- 6) 専門医委員会
  - ・佐藤暢一委員長、高橋伸二委員、渡海裕文委員の後任に、  
倉橋清泰代議員、鈴木 学代議員、山下幸一代議員を承認
  - ・次期委員長に江木盛時委員を、副委員長に吉田健史委員を承認
- 7) ECMO プロジェクト委員会
  - ・大山慶介委員、服部憲幸委員の後任に、  
河越淳一郎会員、緒方嘉隆会員を承認
- 8) 利益相反委員会
  - ・相澤 純委員、藤本潤一委員、宮川哲夫委員、吉岡 淳委員の後任に、  
櫻本秀明代議員、山口嘉一代議員、木村雅彦代議員、梶原吉春代議員を承認

## 第2号議案 理事会・委員会規則 変更の件（大塚理事）

### 《理事会・委員会規則》

- ・第8条1項と6項における、委員長と委員の委嘱・交代・追加にかかる条項を変更し承認された。
- ・第3・14条で、事務局員の出席する委員会・会議を規定し、承認された。
- ・第17条に、事務局員が出席する委員会・会議の時間帯、議事録担当などの規定を追

加し、承認された。

**第3号議案 第44回学術集会余剰金の件**（藤野理事長）

- ・第44回学術集会の収支差額は4,990,308円となり、法人税等490,800円・消費税等383,800円を差し引いた余剰金が、4,115,708円となったことが報告された。
- ・理事会・委員会規則第23条2項にのっとり、法人税等の負担額をマイナス調整できた場合は軽微な額の変更が生じるが、上記の修正は行わない点を確認した。

**第4号議案 第47回学術集会会長推薦の件**（藤野理事長）

- ・吉田健史代議員（大阪大学医学部附属病院集中治療部）を推す声があがり、第47回学術集会会長候補として承認された。

**第5号議案 専門医更新講習の受講認定にかかる学会方針の件**（佐藤委員長）

- ・学術集会での更新講習の受講に際し、オンデマンド配信の導入後、配信の視聴を認定するかは各会長の判断に委ねられていた。
- ・専門医委員会から、視聴後にキーワード入力を必須とするなど現地受講との差別化をしたうえでオンデマンドの視聴でも受講を認める上申があり、承認された。
- ・次回以降の会長に申し送りを行う。

**第6号議案 他学会ホームページのリンク追加の件**（佐藤理事）

- ・第45回学術集会で共同企画シンポジウムを行う日本クリティカルケア看護学会の代表理事；佐々木吉子先生より、お互いの学会本体ホームページでも関連学会としてリンクを作成いただきたいとの依頼を受けた。先方でも役員会で承認後、掲載を進めるとのことであり、リンク作成について承認された。
- ・同様の手続きを日本呼吸器学会にも依頼することとし、ほかにも依頼できる学協会があるか確認を行うこととした。